

少々的はづれ 伯國珈琲對策は

英紙の批評

ロンドン發行の英紙、サウス・ジル珈琲對策に就き大略次の如く論じてゐる。

ジルに於て多大の犠牲を拂ひつゝあるにも拘らず、一九三一年のストックは三百六十二萬四千袋の増加を見た。ブラジルのみにて一九三一年の西百七萬九千袋に比し一九三二年一月は既に五百五十三萬二千袋といふ増加を見せてゐる。

ブラジル珈琲局所有ストックは現在千六百萬袋と推算され過去の二千四百十二萬三千袋から見て大した減少である。

然るに他國のそれは合計百四十萬袋で、百十一萬袋に對する三十萬袋の増加をしてゐるのである。

ブラジル政府が買上た珈琲は既に六百七萬五千袋に上り之が爲め七百四十萬ポンドを出費してゐる。又珈琲審議會の約束が完全に實行されるれば二ヶ月後には千二百萬袋が又却される筈だが、一九三二一年度の收穫を見たらしくても千六百萬袋のストックが又出來上るのである。現在ジルがどうある珈琲過剰生産對策は少々的外れの批難をまぬがれない、犠牲多大に拘らず、たゞ外國產品の爲めにばかりなるのだから、よろしく方策を改めストックを投賣すべきである云々

英國が注文

英國からの注文に依つて聖州產バタが二千五百サツコ英京促進に關する私案を提出して此ロンドンに向けて冷蔵船で送る

日伯貿易促進

農業聯盟が積極的に動く

Pensão Japoneza
R. Costa Aguiar, 422—Campinas

日本旅館
當店養益會社 眼科
館主 坂本政之輔

對珈琲融資の方策變更か

廿三日早朝珈琲審議會長マルコ

スデ・ソーザ・ダントアス氏はリオ代表ブエルナンド・テ・パット氏と同道、ブラジル銀行總裁アルシール・ゴーデ・ソーザ・コスター氏を訪ね何事か重要問題を議した。午後は右兩氏にクーゴー・アルボレオン氏をも加り、藏相アーネス・ソーラニヤ氏を訪問懇談した。尚、午後は右兩氏にクーゴー・アルボレオン氏をも加り、藏相アーネス・ソーラニヤ氏を訪問懇談した。

役員氏名

會長 鈴木廣義

副會長

學務委員長

學務會計

學務委員

會計

マリ、アの
青年聯盟總會
バウリス・タ延長線青年聯盟マリ
、ア支部定期總會は、最近新年
に催はされ、岡崎支部長の挨拶
に依り幕が開き、次で東家支部
長の會計報告、小出常任幹事の
事務報告よりて後議事に移り、
本年度の事業計畫、會則訂正等
ありて役員改選を行へるが、當
選者左の如くであつた。
マリ、ア支部長 岡崎時司三
副支部長 神谷幹
常任幹事
小新瀬石原伊東島太田田島道下
出根上黒藤田袋根正完忠吉光
虎信權德太三郎完忠吉光
雄夫六美郎郡徳一郎

ブルデンテを振り出しにソロ線獨演巡業の途に就き申し候處初御目通りの私に意外の御愛顧の榮を賜り、ア・マツシヤード町を中心にして既に十七ヶ所からの御申込を受け御客位様の御厚情に感泣向一層懸命に相務め候へば何卒今後共御見捨無く永久の御引立を御願ひ申し上げ候、茲に略儀乍ら紙上を以つて御客位諸賢に御厚禮申上候 敬白
アルヴァレス・マツシヤード驛地方巡回業中

御 謹 告

浪花節澤井天城

御客位様

謹 告

現代の時勢に鑑み、當耕地に於ても青年會の必要を感じ種々協議の結果去る一月二日を以つて左記の機關を有する後宮青年會の發會式を舉行せり

イ、教 育 部 口、衛 生 部

ハ、運 動 部

尙ほ選舉の結果役員當選者左の如し

會 長	淺 沼 源 五
理 事 三 中	濫 川 謙 次
同 會 長	原 誠 平
教 育 部 長	國 正
生 部 長	枝 次
術 部 長	細 江 憲
運 動 部 長	郎 彰 三 郎
中 川 次	郎

追つて當青年會詳則は後日改めて發表致す可く候も取敢ず右發會式並びに役員選舉の結果御報告致し候

昭和七年一月二日

本店の主義は品質は登記段は登記力ーザ

後宮青年會

The image shows a collection of Japanese business cards and advertisements from the early 20th century. The cards are arranged in a grid-like pattern. The top row features a card for 'CASA TOZAN MIZUKAMI & CIA. COMMISSARIO DE CAFE' located in Santos, Praça Mauá, 25. The middle row includes cards for '御旅館 福生屋' (Yutorukan Fushinoya) in Naha, Okinawa, and '和洋御料理 室内清潔' (Wagayaku Ryōri Shiroi Seiketsu) in Naha, Okinawa. The bottom row contains cards for '力一ザ 東山石丸' (Ryūichiザ Tōzan Ishi Maru) in Naha, Okinawa, and several cards for '木村孝太郎' (Kimura Kōtarō) in Naha, Okinawa, with various addresses and names listed.



凱旋

落語

ホロリ泣かす人情嘶

運動問答

セシエンチメートル 長さ少なくも二、

六六米の踏切線)

圓盤投一直徑二、五〇米

砲丸投、重錘投、鐵槌投直徑二、一三

五米

有効角度については(五種)に全ての

範囲内よりなす投擲は地表に區割した

九十九度の角度内に落さざる可ら

あります、其の他詳細の規則が

あります餘白がありませんから三

省堂實行國際陸上競技規則(三〇錢)

日本陸上競技規則六十錢)、東京誠

文堂陸上競技入門(定價金十錢)を御

覽なさい

神經がある、促進神經は交換

される、よつて恐ろしい時には

皮膚を傷め

化濃菌が激しくなる。皮膚を傷め

無菌であるが、外界には無数の

神經で精神の激動した時に刺戟

されると化濃する理由。體内は總て

細菌白血球が集まつて化

濃菌を體内に入れまいと防ぐ。

その白血球の死骸が濃であ

る、皮膚の破れた所に附着すると

血液の中の白血球が集まつて化

濃菌が存在する。この化濃菌

は、皮膚の死骸が濃であ

る、その白血球の死骸が濃であ

る、神經が激しくなる。皮膚を傷め

される、よつて恐ろしい時には

皮膚を傷め

化濃菌が激しくなる。皮膚を傷め

される、よつて恐ろしい時には

皮膚を傷め

化濃菌が激しくなる

(五) 第七百五十六號

想感象事

學文民植

生劍小

植民文學

英男を傍見

は從來余り

耳にしない

ことであつた

南歐の舊植

民的發展國

に二、三あ

る位で眞の

事情の變化

が加へられてゐる

日本に於いては移植民そ

の國民的興味が持たれなか

いと加へて移住民その

ものが文化的發展に對する要求

殊に伯國を對稱とする場合伯國

ロギーも特殊なものが生じつゝ

れてゐる

の様子に對して

黙然として

居る

英國の横顔

生命を繋いで

居るのか

疲れた妻の姿

前に英男は云ひ

した衰へ切つた妻

の姿の前に英男は云ひ

した衰へ切つた妻

の姿の前に

故・村・鎧・諸・矢

この光景を目前にした、こゝは東海道鶴見神奈川の間を右の山地、俗にいふ浦島山龍燈松の根方に、露宿の夢からさめたのは郡勝馬である。

「水殿が突き出す刃を俺は引外した。何で俺はあの時引つ外したのだらう。討たれて死んでもよい覺悟でゐるものが、咄嗟の急に引つ外し手首を押へつけた。かよわい女が身動きの出来ない程ソッと力を置いて——もう少しで俺はあの人に大地に叩きつける處であった。でもそこまでやらなかつたのは、まだしも幸ひだつた」

命を永女にやらずに終つたゆうべが果して自分の幸ひだつたか、勝馬はそんな事をちよつと考へた。しかしいくら考へたらと、永女の戀が全くならうとは思へない殺害した五郎兵衛が甦つてくる日がない如く、絶れたこの戀が、再び結びつく時は、この地上では永遠にない。

「矢張り俺は永女に討たれてやるのが好いのだらう、どうで永生で一人の男より外に、許さぬ誓ひの固い永女は、肌を餘人に觸れまい爲に自害する事は必定だ、俺を討つて自害するのが、同じく死んで行く、永生をどうするといふ目的もない、主を棄て家名を棄て何もかも棄てた俺には、一番いるのが、かの人に、一番いるのと同じ事なのだ。せめてはこの命を、永女の孝行のために失つてやれば、俺としての心や思ふとゆうべ八丁駆で、もう電の罪免れ難く切腹は困る、命出しへ、八丁駆で、まことに切腹以上の罪科を科せられる事はあるまい

「さうか、どうも是非がない」
親切叮寧
相原理髮店
バリカン研ぎも致します
御洗髪併にマッサージ
御調髪毎に致します
矢庭に一人の武士が前後に立たけた

CASA FOTOPTICA

Afco Kodak Voigtländer Hauff Leiss Ikon
SAO PAULO - RUA SAO BENTO, 45

人がある。二人は左右に、まん中は勝馬。川崎宿を越して六郷の川向う、女塚をすぎて、やがて遠く平坦な道がのびてゐる。三人は一言から直ひ返して行かう、永女さが後悔された。

「今からでも遅くはない、これ逆に攻めつけたわざの、軽々さが悔された。」

◇トロホームには、「タカ點眼薬」

江戸の藩邸へ着いた勝馬は、勝馬が捧げる、最後の寸志。それがよい、俺は討たれてやられ、追つて下される沙汰を待てといふのである。

勝馬の主の大久保家は今、徳川氏の大業に力をつくした大久

四大附録

海外の皆様！ 何は置いても御覽下さい!! キング新年号は面白、安いと到る處大評判!!

英雄偉人を語る座談會

愛の院長松田三彌先生 山室軍平

全日本青年諸君に檄す 永井柳太郎

軍事美談 日東男兒血染の雪 相澤政志

新 年 号

驚くべし堂々八百頁の大冊 ツタ六十錢

第一千古に亘く大感激画帖 菊五郎格子

第三附録 新時代歐米五人小説作合集 菊池寛

第四附録 大家新人短篇小説作合集 東京大日本社

第五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊五郎格子

第六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第二十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第三十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第四十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第五十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第六十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第七十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第八十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第九十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百零九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百二十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百三十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百四十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百五十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百六十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百七十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十七附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十八附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百八十九附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百九十附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百九十一附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百九十二附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百九十三附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百九十四附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百九十五附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百九十六附録 第二千古に亘く大感激画帖 菊池寛

第一百九十七附録 第二千古に亘